

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [民主主義と社会正義](#) ③
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

民主主義と社会正義 ③

社会正義について

民主的共同体社会システムはの理論は、社会正義を大切にします。

社会正義は「社会的公平の実現・追求」と置き換えてもかまいません。また、民主主義の積極的な面を目指すこと、でも同じです。例えば、日本国憲法第25条では「①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び躍進に努めなければならない」と定め、また第26条では「すべて国民は、法律の定めるところにより、そんな能力に応じて、等しく教育を受ける権利を有する」と定めています。前者は「生存権」を、後者は「教育の機会均等」を明記したものととして重要な規定です。しかしながら、今なお一生懸命働きながら、その最低生活も維持できない「ワーキングプア」の存在や、『能力に応じて教育を受ける権利を有すると言われながらも、経済的な理由で高等学校や大学の進学を断念する人も多くいる現実も否定できません。

生活保護を受けている家庭や生計主を事故や病気や失った家庭では子供が高等教育を受けるのは事実上閉ざされています。民主主義の理想である「生存権の保障」や「教育の機会均等」について社会的公平が実現しているとは言えません。

民主主義を徹底させてこれらを解決し、社会正義を実現する努力をなくしてはなりません。「民主的共同体社会システム」の立場に立つ人たちは、このような「社会の不公平」に目をそらさず、社会的な初問題を政策・制度の改善、または新しいシステムの構築を通じて、あるいは創造していく過程で解決していかなければなりません。

社会正義にも二つの種類がある

社会正義には二種類あります。一つは「自同律」と呼び、自分あるいは自分が所属する組織の中だけ通用する正義で、もう一つは「相互律」といい、広く社会に通じる社会正義です。人間は一人ですべて生きていくことはできません。相互依存こそ人間存在の実態です。

自同律の正義とは

日本特有の社会構造は依然として「自同律」の理論で動いています。たとえば、日本の就職活動の結果によって起きている社会構造がその典型例組の一つです。多くの学生は、大学在学中に会社への就職内定をもらい会社へ入ると「今までの青くさい考えは捨てろ。実学を学べ」と言われ、会社独自の考え方やルールを教え込まれます。半分は社会的なルールですが、依然として半分はその企業の独自の理論です。そのような考え方をもちて忠実に仕事をしないと動かないし、組織内での地位も上がらないので、会社内の常識がおかしいと思わない人間が少しずつ出来上がり、その中で中間管理職としてのオペレーション能力が高い人がやがて取締役を務め、さらにその中から内部昇進して誰かが社長まで上り詰めます。自律して行動する人より、組織内の論理で動く人によって組織が構成されるようになります。現在のほとんどの企業の横並び現象、談合や天下り、企業の不祥事等はこのような日本独特の「自同律」で行動する組織・社会構造から生まれています。これらの現象を頭から悪いことだ、というのはたやすいことですが、それではいつまでたってもなくなりません。近代から現代への転換は「自同律」から「相互律」への転換が必要です。

[民主主義と社会正義④](#) ⇒

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.